

上記の各タイトルから明らかなように、講演の多くは、葉の出現速度（あるいはファイロクロンの長さ）に及ぼす各種要因の影響、あるいは葉の出現を予測する手法、といった内容を主体とするものであった。著者らは、葉の出現に着目するという見方・考え方が作物の発育形態の理解にどのように役立ってきたかという1つのケーススタディとして、イネのシートおよび根系の形成に関する本邦の研究例を葉の出現という視点から整理して紹介した。

発育を”理解する”ということは、究極的には、個々の種が示す発育様式に対して、その存在理由を明らかにする、ということに他ならないだろう。そのためには、それぞれの発育様式がもつ機能的・適応的な意義を解明しつつ、同時に、こうした適応的な進化に制約を課すものとしての発育様式の保守性・法則性をも明らかにしていかねばならない。なぜなら、ある植物がある環境下で示す発育様式とは、例えているならば、このようないい対立する”進化的制約”の与える方程式に対してその植物がはじき出した1つの解だからである。葉の出現あるいはファイロクロンに基づく見方・考え方が発育の理解に真に貢献するかどうかは、今後、こういった見方が上述のようなアプローチにおける1つの発見法としてどれだけ活用されていくかにかかっているといえる。残念ながら、今回のシンポジウムにおけるファイロクロンの役割はモデリングのための単なる道具に過ぎなかつたうらみがあるが、目下、著者らは、こうした問題意識をもって、各種イネ科作物の発育形態の把握に精進している。

会 告

- * 1994年の会費は今年度と同様に、個人会員：2,000円、団体会員：7,000円とさせて頂きます。詳しくは、この号の送付時に、各会員宛のご案内を同封しております。ご参照下さい。
- * 原稿を募集しております。詳しくは第1号（1993年3月発行）の会告をご覧下さい。また、出版物や勉強会などの情報も歓迎いたします。手紙かファクシミリにてご連絡下さい。
- * 新規入会をご希望の方は、とりあえずお名前と連絡先の住所をハガキかファクシミリにてお知らせ下さい。事務局より必要な書類をお送りします。
- * バックナンバーは1994年に発行の第2巻（全4号で2,000円）が残っております。入手ご希望の方は事務局までご連絡下さい。第1巻（1993年）は品切れですのでご容赦下さい。

事務局住所：

〒113 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部栽培研究室内 「根研究会」事務局
TEL 03-3812-2111 内線5045 FAX 03-3815-5851 (担当：阿部 淳)